



質の高いイベントの実施と県の文化力の向上

主担当部局：地域振興部



ミュージックフェストなら 2015

目指す姿

奈良の歴史文化の魅力や背景を分かりやすく伝えることや質の高い文化芸術イベントを実施することにより、文化力を高めるとともに、文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、活動の裾野拡大を図ります。また、文化資源を活用し、奈良の魅力を高めることにより地域活性化を進めます。



●平成28年度までに、
芸術・文化を行う
県民の割合を

全国1位

にします。

(平成23年度：2位)

●平成31年度までに、
文化関連支出(世帯
当たり)を

全国10位以内

にします。

(平成26年度：14位)

●平成31年までに、
美術館・博物館・社寺等
文化施設入場料支出
(世帯当たり)を

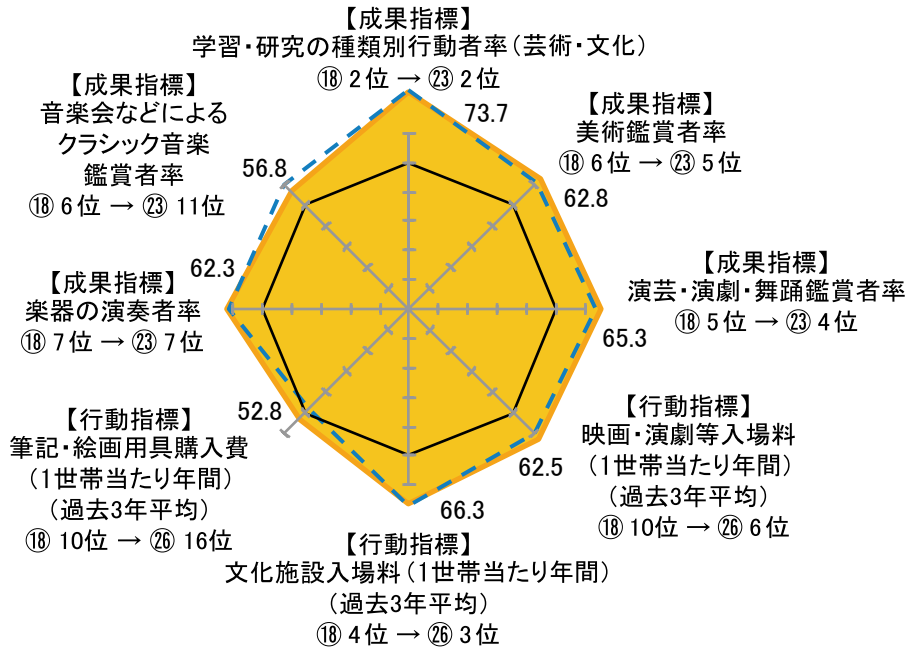
全国1位

にします。

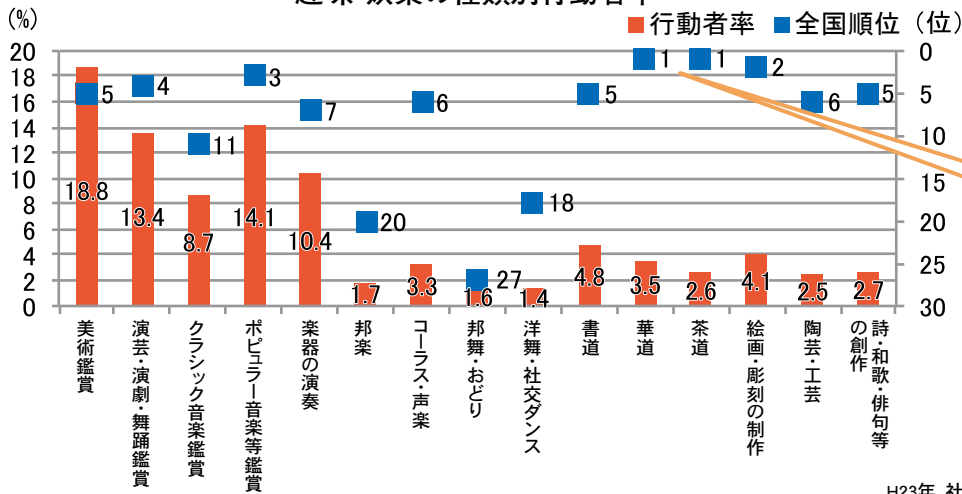
(平成24年から平成26年平均：3位)

分析

■ 主な指標



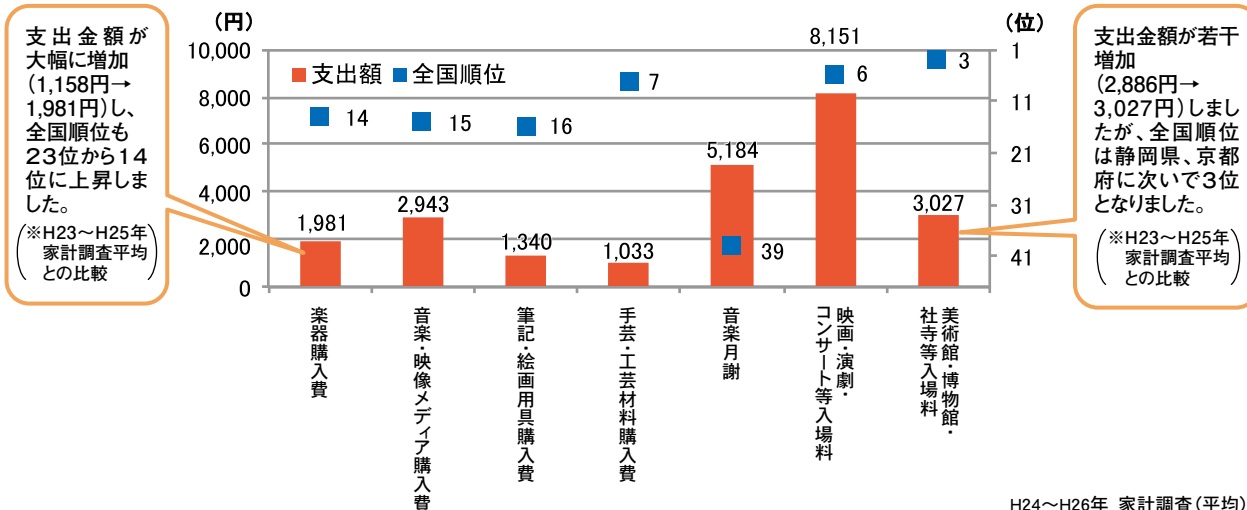
趣味・娯楽の種類別行動者率



華道(9位)茶道(10位)共に全国順位が1位に上昇しました。(※H18年との比較)

H23年 社会生活基本調査

家計支出にみる文化活動の状況(都道府県庁所在市、2人以上の世帯)



支出金額が大幅に増加(1,158円→1,981円)し、全国順位も23位から14位に上昇しました。(※H23～H25年家計調査平均との比較)

支出金額が若干増加(2,886円→3,027円)しましたが、全国順位は静岡県、京都府に次いで3位となりました。(※H23～H25年家計調査平均との比較)

H24～H26年 家計調査(平均)

戦略1

文化芸術への参加、鑑賞の機会や活動の裾野を拡大し、奈良の文化力を向上します。

主担当課：地域振興部 文化振興課

戦略目標

- ▶ 伝統芸能など奈良が持っている質の高い文化資源を活用して、奈良の文化力を高めます。
- ▶ 老若男女の様々な層の文化芸術活動の活発化により、県民の文化芸術に対する満足度を高めます。
- ▶ 平成31年度までに、文化芸術への参加、鑑賞の機会を創出するために、奈良県大芸術祭の来場者数115万人を目指します。(平成26年度：97万人)
- ▶ 平成31年度までに、上質な文化芸術に触れる催事を積極的に開催し、県民アンケートにおける「ムジークフェストなら」の周知度50%以上を目指します。(平成26年度：21.9%)
- ▶ 文化・芸術の担い手の養成を進めます。
- ▶ 有識者の講演録など県が保有する知的情報を広く県内外に発信し、奈良のステータスを高めます。
- ▶ 文化施策の方向性を明らかにし、文化振興大綱を策定します。

取り組み

奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催

文化・芸術活動を支える人材の育成

文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充

奈良県が保有する知的情報の発信

文化芸術団体等への支援の拡充・強化

奈良だからこそできる音楽祭の開催

上質な芸術文化に触れる機会の提供



奈良県大芸術祭 オープニングパレード

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催				
◎奈良県大芸術祭の開催	継続開催		国民文化祭をきっかけに発展	
文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充				
◎奈良県大芸術祭での発表機会提供	様々な会場での発表の機会を提供			
◎「ムジークフェストなら」での発表機会の提供	様々な会場での発表の機会を提供			
◎県庁星空コンサートの開催		発表の機会を提供		
◎奈良県美術展覧会の開催		発表の機会を提供		
◎国民文化祭・ならの開催	開催準備		開催	
文化芸術団体等への支援の拡充・強化				
◎新たな文化活動チャレンジ補助金		継続実施		
◎奈良県大芸術祭での広報支援		広報支援		

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
奈良だからこそできる音楽祭の開催				
◎「ムジークフェストなら」の開催		継続開催		
上質な芸術文化に触れる機会の提供				
◎県立美術館特別展の開催	向徳天心展、現代アート展等開催	魅力的な特別展を実施		
◎文化施設等(文化会館・橿原文化会館・万葉文化館等)でのコンサート、展示事業、美術展等の実施		様々なコンサートや展示事業等の自主事業を実施		
文化・芸術活動を支える人材の育成				
◎県立ジュニアオーケストラ活動の充実		コンサートの開催		
奈良県が保有する知的情報の発信				
◎有識者の講演録等県が保有する知的情報を広く県内外に発信		インターネット等による情報発信		

戦略2

文化資源を活用し、奈良の魅力を高めることにより地域活性化を進めます。

主担当課：地域振興部 文化資源活用課

戦略目標

- ▶ **歴史的文化資源**を幅広く対象とした**整備活用**や**各種支援**を行います。
- ▶ わかりやすい歴史展示や多言語化などにより**情報発信**を強化します。
- ▶ 海外の美術館での展示や国際機関との連携などにより**国際展開**を図ります。
- ▶ 文化資源を活用した**地域交流**や**人材育成**を図ります。
- ▶ 「文化芸術立国」に向けた**先駆的な施設整備**を行います。
- ▶ 平成31年度までに、**県立文化施設の来訪者数1,355千人**を目指します。(平成25年度：1,318千人)
- ▶ 文化施策の方向性を明らかにし、**文化振興大綱**を策定します。(再掲)

取り組み

文化資源を活用した整備・情報発信等への支援

県内文化施設が核となり、地域のにぎわいを創出

歴史的文化資源データベースの構築

主要プロジェクト
17 記紀・万葉プロジェクトの推進

県内古文書の翻刻、公開等

奈良らしい歴史展示等の推進

海外の美術館での展示や国際機関との連携等

地域交流や人材育成の推進

主要プロジェクト
16 (仮称)奈良県国際芸術家村の整備



「なら民博ふるさとフェスタ」
やまと獅子太鼓 (大和民俗公園)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
文化資源を活用した整備・情報発信等への支援				
◎文化資源を活用した地域活性化に取り組む市町村等を支援	市町村等への補助事業の実施			
◎文化財を活用した世界遺産登録への取り組み支援	登録に向けた取り組み支援を実施			
歴史的文化資源データベースの構築				
◎文化資源データベースの構築	構想検討	初期データ作成・公開		
県内古文書の翻刻、公開等				
◎庁中漫録の翻刻	翻刻等の実施、情報発信の充実			
奈良らしい歴史展示等の推進				
◎歴史人物ストーリーの情報発信	映像作成等コンテンツ・ツールの展開・充実			
◎Q&A現地解説板の設置	展示エリアの拡大・本設置			
◎ハンズオン(体験学習)の実施	レプリカ作成、ハンズオンの実施			
◎聖徳太子の功績を講えるためイベント等による情報発信	シンポジウム・講座の実施			
海外の美術館での展示や国際機関との連携等				
◎奈良の仏像を世界の著名な美術館で展示	美術館・寺院・文化庁との調整			実施

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域交流や人材育成の推進				
◎奈良県文化芸術振興基金の創設		基金の創設		
◎発掘調査への参加		研修の実施、発掘調査への参加		
(仮称)奈良県国際芸術家村の整備				
◎(仮称)奈良県国際芸術家村の整備	構想策定	基本計画策定	調査・設計等	
県立文化施設が核となり、地域のにぎわいを創出				
◎地域の歴史や万葉集をはじめとした文化資源を活かしたイベント・展覧会等の開催(万葉文化館)	魅力的な展覧会・講演会・四季を通じてのイベントの開催			
◎奈良県のくらしの変遷を理解する場の提供及び公園を活用した地域のにぎわいづくり(民俗博物館)	生活用具等を通して奈良の伝統的な生活文化を伝える展示及び公園を活用したイベントの実施			
◎情報発信の拠点として学びの場、交流の場を提供(図書情報館)	教養講座等及びコンサート・企画展等の開催			
◎実物資料をととして考古学に対する理解を深める機会を提供(橿原考古学研究所)	魅力的なテーマ展示の実施、研究講座・シンポジウム等の開催			
記紀・万葉プロジェクトの推進				
◎親しみやすい情報発信の定期・継続実施	「なら記紀・万葉名所図会」の制作等			
◎イベントによる情報発信	「古事記のまつり」・「(仮称)ヤマト撫子大学」の開催等			

これまでの成果

★梅雨の古都・奈良を彩る**ムジークフェストなら2015**(平成27年6月13日～28日)を開催し、約**107,000人の来場者**を集めました。

県立万葉文化館において「**にぎわいフェスタ万葉**」を季節ごとに**実施**し、開催されたイベントには約**17,000人(春～冬)**が来場しました。

奈良県大芸術祭(9月～11月)を開催し、さまざまな主催事業をはじめ**642催事**が開催されました。

県立ジュニアオーケストラがムジークフェストなら2015、奈良県大芸術祭をはじめ**7回のコンサート**に**出演**しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

映画・演劇等入場料
(1世帯当たり年間)

7,511円

(平成18年 全国10位)



8,151円

(平成26年 全国6位)

全国順位は10位から6位へ上昇し、金額も増加しました。

■変化が見られない指標、低下している指標

学習・研究の種類別行動者率
(芸術・文化)

15.0%

(平成18年 全国2位)



13.0%

(平成23年 全国2位)

行動者率は低下しましたが、全国順位は2位を維持しています。



ムジークフェストなら 2015



春日舞楽公演 (万葉文化館)



県立ジュニアオーケストラ定期演奏会



文化セミナー



図書館開館10周年記念トークイベント